

佐伯市の不登校の現状と課題について

不登校の未然防止及び登校支援に係る組織的取組の推進

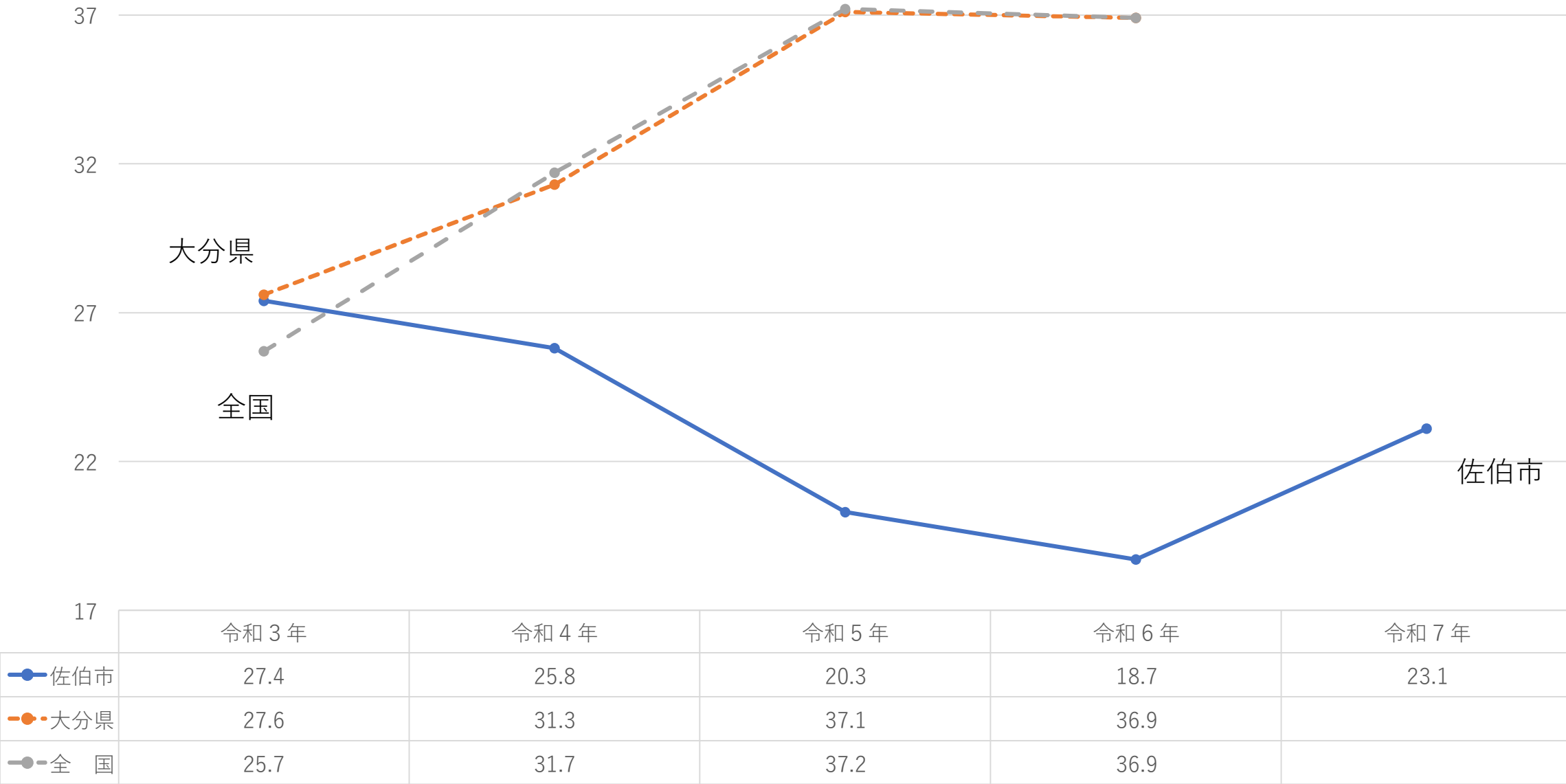
佐伯市教育委員会学校教育課

佐伯市の現状（不登校児童生徒の経年変化）

	R 3	R 4	R5	R6	R7
小学校	34	41	32	25	30
中学校	93	75	56	53	63
総 計	127	116	88	78	93
出現率 (千人当たり)	27.4	25.8	20.3	18.7	23.1

(人)

佐伯市の現状（千人当たりの出現率の経年比較）



佐伯市の現状（不登校児童生徒の経年変化）

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
小1	2	1	4	1	0	1
小2	4	3	4	4	3	0
小3	6	4	3	2	5	11
小4	4	5	7	5	3	8
小5	8	9	11	8	5	6
小6	15	12	12	12	9	4
中1	16	35	12	11	17	12
中2	33	17	35	21	17	30
中3	20	41	28	24	19	21

（人）

佐伯市の現状（R7年度不登校の要因）

	不安・ 抑うつ	生活リズム の不調	学業不振	親子関係	いじめを 除く友人 関係
小学校	8	11	6	7	7
中学校	30	18	11	7	7
合 計	38	29	17	14	14

（人）

データから読み解く佐伯市の課題

- 1 日常において児童生徒相互の関係をどう構築すべきか
- 2 行き渋りが見られる児童生徒への個別対応をどうすべきか
- 3 不登校の児童生徒の受け皿をどうすべきか
- 4 保護者との連携、保護者への支援をどう進めるべきか



自己肯定感の高まり

課題Ⅰ 日常において児童生徒相互の関係をどう構築すべきか

→ 取組① 人間関係づくりプログラムの実施

- ア) 「自尊感情」を高め「ソーシャルスキル」を身につけさせる
⇒不登校・いじめの未然防止
- イ) 学力向上につながる「学び合い」の雰囲気醸成
⇒協働的な学び
- ウ) 児童生徒同士の「信頼関係」の構築
⇒安心して学び合える雰囲気

エクササイズを配信用フォルダにて共有

課題 2 行き渋りが見られる児童生徒への個別対応をどうすべきか

取組② 校内教育支援センターの設置

大分県教育委員会からの支援

人的措置	対象校
地域児童生徒支援コーディネーター	渡町台小学校 鶴谷中学校
中学校学習支援教員	佐伯南中学校
登校支援員	佐伯城南中学校・昭和中 蒲江翔南学園・鶴岡小

課題 2 行き渋りが見られる児童生徒への個別対応をどうすべきか

取組② 校内教育支援センターの設置

設 置 校	校内教育支援センター名
渡町台小学校	ひだまりルーム
鶴谷中学校	スマイルルーム
佐伯城南中学校	ひだまりルーム
佐伯南中学校	あったかルーム
蒲江翔南学園	翔南ルーム
昭和中学校	ステップアップルーム
鶴岡小学校	さんさんルーム
上堅田小学校	かがやきルーム

課題3 不登校の児童生徒の受け皿をどうすべきか

→ 取組③ 教育支援センター教室 「グリーンプラザ」の運営

佐伯市教育支援センター

教室

グリーンプラザ

佐伯市教育委員会 学校教育課



【お問い合わせ先】

佐伯市大字池田611番地1

※旧「久部保育所」

TEL/FAX : 0972-22-5131



「グリーンプラザ」って何をするとところ？

不登校や人間関係に悩む子どもや保護者の「もうひとつの居場所」です。個別面談による相談活動と自立支援のための集団活動を行っています。

こんなお悩みありませんか？

「子どもが学級の友だちになじめず悩んでいる。」

「子どもが学校に行きたくないと言っている。」

「子どもが朝になると体調不良を訴える。」

「学校以外に自分のペースで勉強できる場所はないかな？」

相談方法には「電話相談」「来室相談」「訪問相談」の三つがあります。

＊「電話相談」は平日9:00～16:30、いつでも受け付けています。

＊「来室相談」「訪問相談」は電話で予約できます。

＊臨床心理士によるカウンセリングも可能です。

＊秘密は厳守します。

課題3 不登校の児童生徒の受け皿をどうすべきか

取組③ 子どもの居場所づくり

いばしょ
こどもの居場所 はじめました

なつやすみのしゅくだい おたすけします

さいきしきょういくいんかい
佐伯市教育委員会

この なつを おもいっきり たのしむために
しゅくだいを はやめに おわらせちゃおう！
なにごとも はじめが かんじんですぞ

きょういくいんかいの せんせいが
やさしく おしえてくれるよ
さあ みんな なつやすみの
しゅくだいをもって あつまれ～っ！

【いつ】

7月18日（土） 9:30～11:30（出入り自由）

【どこで】

さいき ちいき

佐伯地域コミュニティセンター 2F 研修室



【目的】

コミュニティセンター等の関係機関や団体と連携しながら、放課後や休日の学校外における児童生徒の居場所を確保し、そこで行われる補充学習や集団活動をととして社会性の涵養や基礎学力の定着を図ることで自己肯定感の向上に資する。

【対象】

市内小学生

【実施場所】

各地域コミュニティセンター等



課題4 保護者との連携、保護者への支援をどう進めるべきか

→ 取組④ 不登校を考える親の会（保護者支援）

佐伯市教育委員会 主催

不登校を考える親の会は、様々な理由から学校に行けなくなった子どもたち、

行きにくくなった子どもたちの親が思いを語り合う場です。

子どもの不登校や登校しぶり、ひきこもりに悩む親が集まり、自分の思いを語り合ったり、不登校経験のある方やその保護者をお招きして経験談を聞いたり、情報交換をしています。

不登校に悩む、佐伯市内の幼稚園・小学校・中学校に通うお子様のいるご家族であれば、どなたでも参加できます。

同じ立場の親同士、安心して思いを吐き出し、支えあって、子どもたちに寄り添っていける場を目指しています。

もし、一人で悩んでいらっしゃったら、**私たちと一緒に話してみませんか。**

○日時：毎月1回・日曜日 14:30～16:00

令和8年4月19日(日) 5月17日(日) 6月21日(日)

7月26日(日) 8月23日(日) 9月20日(日)

10月18日(日) 11月15日(日) 12月20日(日)

令和9年1月17日(日) 2月21日(日) 3月14日(日)

○場所：佐伯市教育支援センター 教室「グリーンプラザ」

○会費：無料

○参加申込先 ①佐伯市教育委員会 学校教育課 学校指導係

TEL 0972-22-4670 FAX 0972-24-0231

②佐伯市教育支援センター 教室「グリーンプラザ」

TEL/FAX 0972-22-5131

○アドバイザー：臨床心理士等

佐伯市教育支援センター
教室「グリーンプラザ」

佐伯市大字池田611番地1
(旧「久部保育所」)



まなびちゃん



改善のための実態把握

①Hyper-QU調査の実施と分析会議の開催（年2回）

②長期欠席児童生徒数調査と集計（毎月）

③いじめアンケートの実施と集計（ふた月に1度）

「小・中連携シート」等を
活用した取組

Hyper-QU調査の実施と
分析会議

中学校区を単位とした
コミュニティ・スクール

人間関係づくりプログラム
の計画的な実施



- ・ 生徒指導から教育相談へのシフト
- ・ 中１ギャップへの組織的対応

ご清聴ありがとうございました